

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和元年5月22日 ～ 令和2年3月12日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅱ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的なニーズの把握及び広報，相談体制に関すること ・日本語指導を含めた特別の教育課程の編成など，指導上の工夫に関すること。 ・市町村間の応分負担等の連携に関すること。
調査研究のねらい	<p>常総市では，2020年度に中学校夜間学級を開設する予定である。今後，開設に向け，以下の点について調査研究を行うことで，夜間学級の円滑な開設を目指していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間中学の新設の際の効果的な広報およびニーズの把握の在り方について究明する。 ・生徒のニーズに対応できる効果的な教育課程の編成の在り方，及びICTを活用した多言語対応の在り方について究明する。 ・他市町村から生徒を受け入れる際の経費負担を含めた適切な協定の締結の在り方について究明する。
調査研究の成果	<p>1. 効果的なニーズの把握及び広報，相談体制に関すること</p> <p>広報に当たっては以下の方法を用いた</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ポスター・チラシの作製，配付（公共施設，店舗等） ② ホームページ作成 ③ SNSへの掲載 ④ 市及び県広報紙への掲載 ⑤ 新聞，雑誌等への取材協力 <p>また，ニーズ調査に当たっては以下の2つの方法を用いた</p> <ol style="list-style-type: none"> ① Googleフォームによるアンケート（URLをQRコードにしてポスター・チラシに掲載，ホームページ） ② ハガキの設置によるアンケート（公共施設，店舗等） <p>これらの結果，市内外から計102件の問い合わせがあり，うち，インターネットアンケートへの回答が99件であった。スマートフォン，タブレット等の普及に伴い，インターネットアンケートは気軽に回答できる窓口として有効であったと考える。また，新聞やテレビで紹介された直後や，SNSへの掲載直後はアンケートへのアクセス数が顕著に増加しており，メディアの活用は非常に有効な広報手段であったと考えられる。特に，国籍の方のSNSによる連絡ネットワーク上に情報を掲載した際の反応が非常に高かった。</p> <p>2. 日本語指導を含めた特別の教育課程の編成など，指導上の工夫に関するこ</p>

と。

入学希望者の中には、日本語指導が必要な生徒が複数名いる。一方で、指導に当たる教員は日本語指導のノウハウを十分に持っているとは言えない。そこで、以下の2つの具体策に取り組んだ。

① 日本語指導ボランティア団体、及び生涯学習センターとの連携体制を構築

市内にある既存の日本語指導ボランティア団体に協力を要請し、夜間中学へのボランティア派遣の体制を構築した。その際ボランティア派遣を県の生涯学習センターの事業とすることで、派遣人材の調整を委託することとした。また、生涯学習センター、日本語指導ボランティア団体と連携し、日本語指導ボランティア養成講座を開講し、ボランティアを育成及び募集を行った。

② 先進校視察を通じた指導法の研究

北陸大学の准教授の指導を仰ぎ、日本語の指導法について研究した。その際、先進校である東大阪市立布施中学校における「表現」を中心とした日本語指導の在り方について研究を行った。

また、以下の夜間中学の視察や、研修会への参加を通して、使用教材、指導方法、教育課程編成について調査研究を行った。

視察先：

- 埼玉県川口市立芝西中学校陽春分校
- 千葉県市川市立大洲中学校夜間学級
- 東京都荒川区立第九中学校夜間学級
- 東京都足立区立第四中学校夜間学級
- 千葉県松戸市立第一中学校みらい分校
- 奈良県橿原市立畝傍中学校夜間学級
- 大阪府東大阪市立布施中学校夜間学級

研修会：

- 令和元年度夜間中学における日本語指導研修会
- 全国夜間中学校研究大会 兵庫大会

3. 市町村間の応分負担等の連携に関すること。

夜間中学開校後の必要経費について、生徒の在住市町村が応分で負担する体制を構築するために、研究協議会を行った。また、その際の様々なノウハウを学ぶために、応分負担を行っている先進自治体の教育委員会を視察した。

○視察先

埼玉県川口市教育委員会

奈良県橿原市教育委員会

○第1回常総市立水海道中学校夜間学級に係る連絡協議会

<令和元年10月21日(月)>

協議内容：

(1)常総市立水海道中学校夜間学級概要説明

- ・学校概要
- ・入学希望状況について

(2)応分負担について

- ・教育機会均等法により求められる地方公共団体の責務について
- ・先進地における費用負担の例
- ・今後のスケジュールについて

②第2回常総市立水海道中学校夜間学級に係る連絡協議会

(1)義務教育課から

- ・応分負担に係る今後のスケジュールについて

(2)常総市立水海道中学校から

- ・開校準備の進捗状況について

(3)常総市教育委員会学校教育課から

- ・水海道中学校における応分負担の考え方について